



さくらたより

令和4年度 学校だより
NO. 19
令和4年12月7日発行
山形市立桜田小学校

「いじめアンケート」と「子どもたちからの聞き取り」から

11月、今年度2回目のいじめアンケートを行いました。ご協力ありがとうございました。担任が時間をかけて聞き取りをしました。その聞き取りをもとに、“いじめ防止等対策会議”を持ち、実際の対応を進めています。大変遅くなりましたが、聞き取りから見えてきたこと、現在進行中の指導等についてお知らせします。

今回確認した具体的行為は様々です。軽くたたかれる蹴られる押される、わざとぶつかってこられる、嫌な言葉を言われる、からかわれる、が大半を占めています。また、おどし・ひどい暴言、仲間外し、ばい菌扱いという、心を傷つける事案。ものを勝手に使われたり壊されたり返してくれなかったりといった“もの”を巡る事案もありました。

双方の言い分を確認し、行った側の児童にはすでに指導を済ませています。これから繰り返して指導しなければならない事案もあります。今後、十分な心配り・目配りをし、安心できる学級づくり・楽しい授業づくり等を、これまで以上に力を入れて行っていきます。

被害を訴えてくれた児童への対応

まずは、「嫌だったのだ」と表現してくれたことに感謝します。嫌な思いをしなくてもいいように、思いを相手に伝え、行為をやめてもらうようにします。嫌だなど思う行為があったときには“すぐに”大人に伝えてほしいともお願いしています。後からでは、相手はその行為を全く覚えていないことがあるのです（子どもの特性）。“その時にすぐに対応”を行っていきます。

また、話を聞いていくと、お互いが、嫌な思いをし嫌な思いをさせていたという事案もありました。双方の言い分を十分に聞き取り、納得してもらい、解決に向かっていきます。今後も細心の注意をはらい、対応していきます。

行った側になった児童への対応

- ①自分は好意のつもりでも、遊び半分でも、相手が嫌な思いを持ってしまうことがあるのだとわかってもらいます。「楽しいのはあなただけ。相手は嫌がっている。」 — 下学年ほど、この指導が必要であると、強く感じます。
- ②暴力に関して、「いくら嫌なことがあっても、暴力は絶対にダメ」と、繰り返し指導します。
- ③暴言等に関しては、相手の気持ちに対する想像力をつける指導をしていきます。「自分が言われたら？」と、立場を変えた見方等をこれまで同様に繰り返し指導します。
- ④内面に抱える友だち関係の悩み・学習に関わる悩みがないかなど、行為の背景を洞察し、不安や不満を解消していけるように支援していきます。

周囲の児童（全体）への指導

- ①「あれっ？」と思う言動を見聞きしたとき、「やめなよ！」と言える勇気を持てるように励ましています。
- ②その勇気を出せるような集団づくりを行っています。
- ③見て見ぬふりをせず、声を出すこと。その場で言えないようなときは、後で大人に知らせるように指導しています。大人に知らせることは、決して“ちくり”として非難されるものではなく、正義であることを繰り返し教えています。

これからも、お子さんの様子や会話などから、「おかしいな」と感じたときにはすぐお知らせください。

「いじめ防止」標語

11月「いのちの安心安全月間」に関わって応募ありがとうございました。いくつか紹介します。

- 見つけよう 友だちみんなのいいところ（1年U・H）
- ありがとう 心通わす 合い言葉（3年W・I）
- やめようよ その一言がいじめをなくす（4年Y・S）
- やめようよ その一言が友情だ（5年S・Y）

叱るべきところを逃さずに叱る

ある学年の教室前を通ると、二人の男子がブツブツ口をとがらせながら不満らしきことをつぶやいています。そこへやってきた子が「先生に叱られたのはねえ、君たちが悪いからだよ」と穏やかに話しかけています。二人は、自分の気持ちを収めるのにややしばらく時間を要しました。私は、話しかけた子の言葉を聞いて、幼少の頃「先生から叱られたのは、おまえが悪いからだ！」と、親から家でも叱られたことを思い出しました。

「叱る－叱られる」どちらも心地よいものではありません。叱る方は大きなエネルギーを必要とします。故に、本当は叱るべきところを素通りしてしまうことも。

「ほめる」教育がもてはやされ、叱る大人が少なくなったと言われます。感情にまかせた怒りの爆発や体罰は論外ですが、子どものよくない行為に対して「叱る」ことは必要だと思えます。

学校では日々、「叱るべきところを逃さずに叱る」ことを重ねています。“その時”を逃さずに、どういうところが良くなかったのか、どうすれば良かったのか等を語り続けています。

アンケートを通して保護者の皆さまから、「授業中の態度も含め、だめなものはダメと教えてほしい」「たたいたり蹴ったりは、しっかりなくしてほしい。たたいたり蹴ったりが当たり前の学校生活だと思われぬようにしてほしい」「何度言っても改善されないって、どういうことなのだ！」という切実なご意見も頂戴しました。一度や二度で改善されない（年齢が低いほどその傾向があります）実態があり、方策を変えながら対応をしています。

金管バンド PR会

本校伝統の金管バンド。11月29日、3年生を対象にPR会を行いました。各楽器の名称や音色の紹介、♪キセキと栄光の架け橋♪演奏、質問感想タイム。それぞれの楽器に触れる時間も。

先輩にあこがれ、3年生の新入部員が続々と名乗りを上げてくれることを望みます。



【東北バンドフェスティバル 出場 決定】

市吹奏楽発表会（10月25日）の演奏を参考に、山形県代表として推薦をいただきました。名誉なことであり、子どもたちは張り切って練習しています。

今年度の東北バンドフェスティバルは、宮城県内の学校は参集、他県の学校は動画を提出してのWeb開催となっています。

動画の撮影は年が明けてから。「栄光の架け橋」と「キセキ」を発表することにし、練習に熱が入ります。

1月 行事予定

10日(火)安全の日 3学期始業式

〔弁当持参〕一斉下校

11日(水)校内書き初め大会

山形市全体の「書き初め展」はなくなりしました。学校代表としての出品は無しです。作品は校内だけで展示します。ご了承ください。

12日(木)避難訓練（積雪時）

19日(木)児童会委員会活動

25日(水)第4回学校運営協議会

27日(金)児童会代表委員会

お願い・予告

今まで以上に生活リズムの整えを

朝8：20まで登校（学校の玄関に入る）をお願いしています。以前予告したように、次年度、日課表を変更し、今までよりも25分ほど早く登校する案を作成中です。1月には“試行”も行ってみます。

これまで以上に生活リズムの整え（早く眠りにつく、早めに起きる、十分な量の朝食を食べる等）をお願いいたします。